

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No.3-1 2022年4月28日
発行：大会事務局

■ エントラントの代理人指名について

レース期間中、エントラントが欠席の場合は、エントラントが委任状で正式に代理人を指名し、代理人が当日委認状を持参、もしくはエントラントが事務局宛に事前に郵送ください。
委任状は HP よりダウンロードしてご活用ください。

■ ドライバースブリーフィングについて

2022 年全日本/ジュニアカート選手権 統一規則 第 4 章 第 22 条に則り、ドライバースブリーフィングの実施をホームストレート上で行います。
ブリーフィング前にドライバーとエントラント代表者に出席表に署名をしていただき、ブリーフィング資料をお渡します。
質疑応答はブリーフィング後に、競技長が受け付けます。資料をもとに事前にある方は、事務局までお申し出ください。

■ 競技ナンバーについて

全クラスゼッケンナンバーステッカー、及び JAF ステッカーを大会受付時にお渡します。下地ステッカーはご用意ください。
JAF ステッカーはナンバーの上に貼ってください。競技ナンバーは前後左右必須です。

下地色

Cadet : 白色

FP-Jr、FP-3、FS-125 : 黄色



■ パドック内の火気取り扱い、作業エリアについて

ピット、及びパドックにて火気を取り扱う作業を行う場合、指定された作業エリアにて行うものとする。
また、ピットならびに各テント内でのストーブ、ジェットヒーター等の使用や、パドック内での喫煙は安全上の問題により禁止する。

■ タイムスケジュール厳守について

各スケジュールは時間厳守でお願いいたします。
遅延の場合は、2022 年全日本/ジュニアカート選手権統一規則 第 6 章 第 38 条に従い、遅延ペナルティが科せられます。
FP-3、FS-125 は遅延賠償(事務局手数料)3000 円、Cadet、FP-Jr はタイムトライアルに 1 秒加算となります。
クレデンシャルパス等の再発行による遅延の場合は、再発行料+遅延ペナルティとなります。

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No.3-2 2022年4月28日
発行：大会事務局

■FP-3 クラス 再車検について

FP-3 クラスの再車検時、エンジンを確認する際にエンジンをばらした状態にさせていただきます。
各自エンジンの測量ができるように、工具のご用意をお願いいたします。

■封印について

タイヤ、エンジン、フレームに施された封印（マーキング）が、外れそう、消えそうな状態になった場合は、事前に技術委員長に申し出ること。

エンジンの場合は、ワイヤーと封印金具を2つ合わせて封印されている状態と見なす。

FS-125、FP-3 のエンジンには、シリンダーヘッド、及びシリンダーヘッドナット1本に、それぞれ封印のための穴を1つ施すこと。

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No.4-1 2022年4月28日
発行：大会事務局

■ジュニアカート選手権 デリバリエンジン制について①

Cadet、FP-Jr において使用するエンジンは、2022年 JAF ジュニアカート選手権 統一規則 第3章 第16条に基づき、デリバリエンジン制とする。詳細については下記の通りとする。

1. 対象クラス Cadet、FP-Jr 各1基

2. エンジン抽選 5/7（土）に抽選でエンジンを配布する。

3. デリバリ時間

5/7（土）	Cadet	配布	7:40～7:50	5/8（日）	Cadet	配布	7:00～7:10
		回収	14:00～14:30			回収	ヒート終了後～15:00
	FP-Jr	配布	7:50～8:00		FP-Jr	配布	7:10～7:20
		回収	14:00～14:30			回収	ヒート終了後～15:00

4. デリバリエンジン詳細

デリバリするエンジンは、慣らしの終了した「YAMAHA 製 KT100SEC」とする。
デリバリエンジンにリストラクターはなし。ジョイントキャブレターは次のものを装着する。

Cadet : 14.5φmm (7YU-13586-09)

FP-Jr : 26.0φmm (787-13586-01)

※Cadet のエンジンには、7 ET シリンダヘッドガスケットが3枚装着される。

キャブレター、吸気消音器、エキゾーストパイプ、マフラー、エンジンマウント、セル用電装部品（バッテリー、スイッチ、ワイヤーハーネス等）は含まれない。

吸気消音器取り付け用フランジは含まれる。ドライブsprocketは10T（219チェーン用）を装着して配布する。

ドライブsprocketの変更、点火時期の変更、クラッチの脱着は禁止する。

5. キャブレターについて

使用できるキャブレターは、WB3A、WB21、WB33 のいずれかとし、エキゾーストパイプ、及びマフラーは YAMAHA 製 KT100SD 純正品とする。

エキゾーストジョイントは、ヤマハ純正品以外の使用が認められるが、ジャバラは内部に変化のあるもの、及び整流版等が取り付けられたものの使用は禁止する。

6. 封印について

シリンダーヘッドとボディー、カバークランクケース2（マグネットカバー）、及びクラッチカバーに封印して配布する。

封印の解除、部品交換、改造は禁止する。

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No.4-2 2022年4月28日
発行：大会事務局

■ジュニアカート選手権 デリバリーエンジン制について②

7. 指定エンジンオイルについて

WAKO'S フォーミュラ KT 2CR (500ml 1本を無償支給)

推奨混合比 20:1~25:1

8. 指定スパークプラグについて

NGK BR*EIX (* = 番手) 番手の選択は自由とする。(BR9EIX 1本を無償支給)

9. エンジンが無負荷で高回転にかけることを禁止する。

10. セルスイッチは連続して5秒以上押し続けられないこと。(エンジンは数秒で始動します)

11. 上記各項は土曜日朝のエンジンデリバリーから適用される。(有料走行時間を含む)

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No.5 2022年4月28日
発行：大会事務局

■デリバリーエンジンにかかるチェック工程

デリバリーエンジンの納品後から返却までの間は、オーガナイザーの保管・管理のもとで取り扱うこととする。

1. 5/7（土）のエンジン配布

- (1)オーガナイザーより配布するエンジンの抽選を実施する。
- (2)抽選されたエンジン毎に、エントラント立会いのもとで、以下の項目を確認する。
 - 各封印がされた状態を確認
 - 専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性を確認。尚、確認に際してはオーガナイザーの指示・管理のもと、実作業をヤマハ担当者が行う。
- (3)確認の後、エントラントにエンジンを配布（受渡）する。

2. 5/7（土）のエンジン回収

特にチェック項目は定めない。外観等任意の確認を行う。

3. 5/8（日）のエンジン再配布

- (1)オーガナイザーより保管場所からエンジンを搬出する。
- (2)再配布するエンジン毎に、エントラント立会いのもとで、以下の項目を確認する。
 - 各封印がされた状態を確認
 - 専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性を確認。尚、確認に際してはオーガナイザーの指示・管理のもと、実作業をヤマハ担当者が行う。
- (3)確認の後、エントラントにエンジンを配布（受渡）する。

4. レース終了後に実施する再車両検査

- (1)技術委員により、全車両に対して各封印がされた状態を確認する。
- (2)技術委員により、再車両検査対象車両のエンジンに対して専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性を確認する。
尚、確認に際しては技術委員の指示・管理のもと、実作業をヤマハ担当者が行う。

5. エンジン交換申請に基づく配布時（適宜）

- (1)交換が認められた場合、オーガナイザーより配布するエンジンの抽選を実施する。
- (2)抽選されたエンジン毎に、エントラント立会いのもとで、以下の項目を確認する。
 - 各封印がされた状態を確認
 - 専用治具を用いてジョイントキャブレターの適合性を確認。尚、確認に際してはオーガナイザーの指示・管理のもと、実作業をヤマハ担当者が行う。
- (3)確認の後、エントラントにエンジンを配布（受渡）する。
- (4)エンジン交換申請はエンジン配布時～決勝ヒート終了まで1回のみ有効とする。
- (5)グリッドペナルティ：公式練習開始後の交換は予選ヒート、予選ヒート終了後の交換は決勝ヒートのスターティンググリッドに、最後尾グリッドのペナルティが与えられる。（複数名の場合、最も遅く申請したものを最後尾とする。）

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No.6 2022年4月28日
発行：大会事務局

■ スタート進行について

予選・決勝ヒートにおけるスタート手順、及びスタート進行は、2022年全日本/ジュニアカート選手権 統一規則 第4章 第29条・第30条、及び全日本選手権/ジュニア選手権適用車両規定に従って行う。

① フロントフェアリングについて

ダミーグリッドへ入場する際はフロントフェアリングを外した状態で入場し、メカニック、又はドライバーが車検員監視下で、フロントフェアリングを装着しなければならない。

② ダミーグリッドへの入場について

フォーメーションラップ開始 5分前にダミーグリッドへの入場が締め切られ、「3min」ボードが示されるまでにカートが所定の場所（本コース上、スターティングポジション）についていなければならない。

③ ダミーグリッド内での作業について

封鎖ゲートより先へは、工具の持ち込みは一切認められない。※ただし、ポジションまでのカートスタンドの使用は認められます。

■ ヒート終了後 車検場において

チェッカー後は、車検場手前の最終コーナーで全車停止します。

チェッカー後は全車徐行で、追い抜かないようにしてください。

特にトップ車両は、チェッカーを受けていない車両を絶対に追い抜かないこと。

停止時エンジンは停止し、ドライバーはカートから降りずに点検後は車検場へ移動してください。

ピットクルーは車検員の合図を受けるまでは、コース内には入らないこと。（車検場内で待機）

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No7 2022年4月28日
発行：大会事務局

■FS-125 エンジン回転数測定機の取り扱い、及び運用方法について

1. 5/7（土）タイヤ配布時に回転計ホルダーを配布します。
2. 公式車検時にホルダーが取り付けられるか確認を行います。
3. 5/8（日）タイヤ配布時に回転計本体を配布します。公式練習から装着して走行してください。
4. 決勝ヒート終了後、車検場にて回転計、及びホルダーの回収を行います。

取付方法は以下の通りです。

(1)表示面が表側となるように回転計をホルダーにタイラップ2本で装着する。

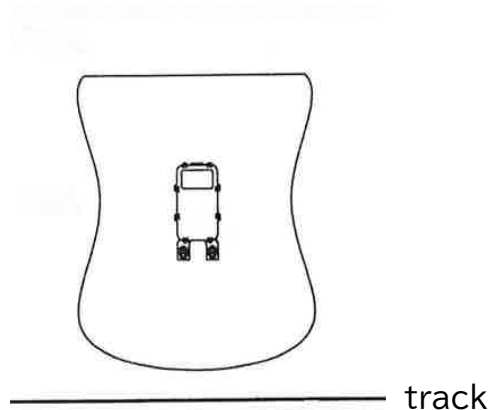
※表示面のMODE部分、及びSET部分を操作しないように留意すること。誤って操作した場合には、必ず技術委員(長)に申し出ること。申し出がない場合、ペナルティが課される場合があるため留意すること。

(2)検知コード先端を、プラグコードにタイラップ2本で強固に取り付けする。

※検知コードとプラグコードは、連続して約20mm接触させること。

※ビニールテープは使用しないこと。

FS-125用 OPPAMA 測定器



2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No10 2022年5月4日
発行：大会事務局

■ コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルスの感染は終息を迎えたわけではありません。今大会もコロナ禍のなかで感染防止に努めながらの開催となります。大会開催参加される皆様には感染拡大防止を最優先していただき、自主的防疫に重点を置いて以下の項目を遵守願います。

- 1) 場内ではマスクの着用を義務付けます。未着用の場合は場内スタッフより注意喚起を行います。
注意喚起後さらにマスク着用が履行できない場合は退場を命ずる場合もあります。
- 2) こまめな手指消毒と可能な限りのウガイをお願いします。
- 3) 場内でのソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
特に、パドック内におけるドライバーとメカニックの対面会話や、作業時の距離、食事時は注意してください。
又、グリッド上、車検場などの、群衆となり得るエリアには特に注意が必要です。
- 4) 咳やくしゃみ、または大声を発する場合は唾液の飛沫防止策として、手の平や袖、タオル、ハンカチなどで口を覆うように周知徹底してください。

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No11 2022年5月4日
発行：大会事務局

■ プリーフィングの変更について

まん延防止措置や行動制限の緩和により、コロナウイルス感染が高まる危険性があるため、ホームストレート上でのプリーフィングからリモートプリーフィングへ変更する。

※リモートプリーフィング中は、パドック・ピット内は静粛にいただき、放送の内容に注意してください。コンプレッサー・発電機の停止をお願いいたします。

2022 JAF 全日本・ジュニアカート選手権 西地域第2戦

公式通知 No12 2022年5月4日
発行：大会事務局

■ 熱中症対策について

5月8日(日)のレース当日、各クラス走行終了後、軽量前において車検場に600ml以下のペットボトルの持ち込みを許可し、熱中症対策として水分の補給を認める。

ただし、再飲と浴びることは禁止する。